

ストライキを 休止するに際して

全國の各労働組合農民組合無産團體の諸君！

過ぐる九月二日突如として發表した山下電氣局長の『全員解雇賃銀半減による繼續採用』の整理案に對して我等は東京市電一萬一千従業員と五萬の家族を直接餓死的生活に叩き落すものであり、更に間接的に全労働大衆の生活に極度の不安を與ふるものであるとの見地から絶對反對し、敢然ストライキを以つて抗争すること十有二日、全員決死の覺悟による闘争はさしも暴慢な當局に大打撃を與へ、將に勝利の瞬間に達せんとした時遂に去る十五日争議調停法による『強制調停』の發動するところとなり、超えて本十七日我等は諸労働状態を考慮し、勝利的戦術として一たんストライキを休止し一齊に就業したのであります。山下局長によつて巧みに紛飾された『整理案』がその上皮をひんむかれ正體が白日の下に暴露されるや、全労働大衆は言ふに及ばず、一般市民、世の識者名士と言はるゝ者、新聞紙等擧げてこの整理案に反對し、輿論の歸趨は斯せずして一致し我等に味方するに到つたのであります。

又この間に於ける全國各労働組合、農民組合、無産團體から寄せられた嵐の如き激勵の聲、闘争資金の雨、闘士の派遣等は實に我等一萬一千従業員、五萬の家族の感激措く能はざるところであり、暴案粉碎の我等の牢乎なる決意はこれ等各團體の應援激勵によつて一層強固となり、十二日間の記録的ストライキにも従業員中一人の落伍者、裏切者もなく、鋼鐵の如き團結力、軍隊の如き統制を發揮し、指令一下一萬一千大衆が一つの體の手足の如く行動し得たのであります。

かくの如き状態の中にあつて、強制調停が如何なるものであるかを以て經驗してある我等がストライキを休止したのは、種々の状態を考慮、検討した上、八分通りの勝利の見透しがつき今後全的勝利を確保するには今日充分の闘争力を残しつゝ一たんストライキを休止することが最も適切妥當なる戦術であると確信するに到つたからであります。従つて今回の我等のストライキ休止は退却的敗北のものではなく勝利の確信と希望の上に立つた効果的戦術であると考へて居ります。

もとより我等は『調停委員會』に凡ての期待をかけ、闘争そのものを休止するのではなく、調停委員會に於ける整々堂々一歩も譲らざる主張、要求と響應し、外部から強力なる闘争の拍車を加え、一方調停委員會不調の際に對する充分なる準備を固めつゝ必勝を期して進むのであります。

我等は今回の闘争の勝敗が當に一萬一千従業員、五萬家族の死活問題、東京交通労働組合の興廢問題たるのみならず、全労働大衆の生活、日本の労働組合運動全體に及ぼす影響の極めて甚大であり、階級的、社會的責任の重大なるを考慮し、慎重の上にも慎重の態度を以て最後の勝利を確保すべく萬全を期して戦ひ抜きます。

茲に我等はストライキを一たん休止するに至つた事情と方針を述べ、今日まで各團體から寄せられた絶大なる支持應援に感謝すると共に今後我等の全的勝利まで更に一層の御援助御鞭撻を與へられんことを御願ひする次第であります。

昭和九年九月十七日

東京交通労働組合

各團體殿